



「旅立ちの君たちへ ～自利利他の心を胸に～」

高校生活の締めくくりを迎え、皆さんはそれぞれの未来へと歩みを進めようとしています。新たな環境に飛び込み、多くの人と出会うこれからの人生において、ぜひ大切にしてほしいことがあります。それは、「自利利他」の精神です。

「自利利他」とは、仏教の教えであり、「自ら仏道を修行し悟りを得るとともに、他者にも仏法の利益(りやく)をもたらすこと」を意味します。分かりやすく言えば、「自利」とは、自らの成長を追求し、努力を惜しまないこと。知識を深め、技を磨き、心を鍛え、自分をより高めていくことです。一方、「利他」とは、周囲の人々の幸せを願い、行動すること。学んだことを社会に還元し、仲間を支え、家族や友人、地域の人々に感謝の心をもって接することです。

皆さんは中学2年生のとき、「コロナ禍」という未曾有の事態を経験しました。当たり前だった日常や学校生活が、いとも簡単に崩れてしまうことを目の当たりにした世代です。その経験を通じて、「今この瞬間の大切さ」を誰よりも深く理解していることでしょう。

今、私たちが生きる社会は、多様な価値観が共存する「共生社会」へと向かっています。AIの進化、国境を越えたつながりの拡大、そして多様性が重視される時代において、真に求められるのは、「自分さえよければいい」という考えではありません。「他者の幸福や社会全体の調和を願い、行動できる力」こそが、これからの時代を生きる上で重要なものとなります。

どのような道を選んだとしても、「利他の心」を大切に持ち続けてください。その心が、皆さん自身の未来を、そしてこれからの社会をよりよいものへと導く確かな力となるはずです。

皆さんの前途が光り輝くものであることを願い、餞(はなむけ)の言葉といたします。
(校長 林 学 先生より)



「ご卒業おめでとうございます」

時が経つのは早いもので、あっという間に中高6年間で過ぎ去ってしまったのではないのでしょうか。これから社会に出ると、そのスピードが更に加速したように感じるはず。「臨終即平生なり」。一遍上人の教えを忘れずに、「一瞬一瞬を大切に」してそれぞれの分野で活躍されることを期待しています。そして、何よりも「健康あつての人生」であることを忘れないでください。

(中学教頭 廣瀬 政幸 先生より)



「高校3年生の皆さん、卒業おめでとうございます」

今年の3学年は英語の授業を通して、全クラスによく知っている生徒がいるという、私にとっては近年珍しい学年でした。ですので、高1の頃に思いを馳せれば「本当に立派になったなあ」という感慨、そして去っていく寂しさもひとしおです。この学年は高校2年生のときから藤嶺祭、生徒会、そして高3になっての体育祭と、各方面でリーダーシップを見事に発揮してくれました。各行事、イベントを本当によく盛り上げてくれたこと、深く感謝しております。

皆さんは明日からそれぞれの道を歩みだすわけですが、今までもそうであったように「質実剛健」「勇猛精進」の精神を忘れずに、困難にも立ち向かい、粘り強く努力を続けてください。また、本校での茶道教育を通して身に付けた日本人としてのマインド、アイデンティティを持ち続けてください。これから先、それぞれ異なった場所で、様々な人々に出会うことになるでしょう。その時、茶道で学んだ礼儀作法や相手を思いやる心は必ず役に立つはずですよ。

皆さんが藤嶺藤沢で培った知識や精神を活かして、多様性豊かで変化の激しい時代においても、社会から必要とされ、貢献できる人となり活躍することを心から願っています。(高校教頭 香西 義之 先生より)

第77回卒業証書授与式
御卒業おめでとうございます



第59号
令和7(2025)年
3月1日
藤嶺学園藤沢
中学校・高等学校
新聞部
(高校)
田中湧大 種竹卓也
川村一樹 高橋航之介
古谷貴一 長谷川望人
平川慶明 高須祥栄
堀竹涼平 塩見耶摩斗
経澤悠希 稲生海風
秋山 尊
(中学校)
中原圭太 石崎航成
村瀬弘旭 尾山右衛先生

3月1日講堂にて第77回卒業証書授与式が
行われます。先生方
から卒業生への贈る言
葉を寄せて頂きました。
先輩方ご卒業おめで
うございます。

【秋山】

「卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます」

入学した時に校歌の話をしたことを覚えていますか。「見よ秀麗の富士の如く、高く掲げん我が理想」3年前に入学したばかりの皆さんに、「何事にも誇りを持とう」とお話ししました。卒業していく皆さんに、もう一つお話をします。

それは富士山が整った山に見えて、意外にそうでもないと言う話です。

富士山には大沢崩れと言う崩壊池があって、頂上から1000m以上筋状に崩れていて、今でも崩れ続けていて西側からは登れません。

またおよそ300年前に南側の6合目付近が大噴火して、宝永山という出っ張り、大きな穴ができてしまいました。だから富士山は実は傷だらけなんです。しかし富士山には、それを感じさせない力強さがあり、とても美しいのです。

卒業生の皆さんには、これから様々な困難や苦労があると思います。苦しいときこそ、高い理想と誇りを忘れないでください。何事もポジティブに捉えて、困難に負けないタフな人になってほしいと思います。 (第3学年協力担任 鎌田 実 先生より)



「77期生の皆さん、卒業おめでとうございます」

藤嶺藤沢での学びは密度の濃い3年間であったことでしょう。校内一泊合宿、体育祭、学園祭、研修旅行、探求学習など様々な行事をはじめ、茶道や剣道・柔道などの特色授業など他校では経験のできない事もたくさん行ってきました。この取り組みは君たちにレアアイテム(武器)をもたらしました。今後の人生でこのレアアイテムをどのように生かしていくか、使うかは君たち次第です。人生の岐路、困ったときにこれらのアイテムを有効活用することで、どんな困難も乗り越えることができるでしょう。

(第3学年D組担任 島貫 和夫 先生より)



「卒業おめでとうございます」

皆さんとは高校入学時に出会い、高1、高2では、B組のクラス担任として関わってきました。修養や研修旅行で「同じ釜の飯を食った仲」です。本来であれば3年でもクラスを持つべきだとは思っていたのですが、自己都合でそれはできなくなってしまったことについての謝罪の気持ちのみが、大きくなっています。門出に対しての言葉はありません。謝るのみです。本当に申し訳ありませんでした。

(第3学年協力担任 高橋 卓也 先生より)



「ご卒業おめでとうございます」

思い起こせばコロナ禍の中、日常生活が一変し、不安や孤独感を抱えながら高校に入学してきたと思います。そのような状況で、学校行事では知恵を出し合い皆で協力し、様々な困難を乗り越え成長してきたと思います。そして、その陰には両親や友人たちの支えがあったことも忘れないでください。今後も自分らしさを失わず、色々なことにチャレンジし、常に謙虚な姿勢で歩んでください。いつまでも応援しています。

(第3学年E組担任 中丸 洋輔 先生より)



「ご卒業おめでとうございます」

高校生活では、楽しいことや嬉しいことだけでなく、悔しさや悲しさも経験したと思います。そしてこれからの人生でも試練や困難に直面することがあるでしょう。そんな時、私が大切にしている言葉があります。

「Pain is beauty」ー「痛みは美しい」という意味です。

誰もが後悔や挫折、報われなかった努力など様々な痛みを感じたことがあると思います。その痛みの意味にすぐに気づけなくても、いつかその経験があなた自身を強く美しくしてくれるはずです。これから、新たなステージで輝く皆さんを心より応援しています。 (高校養護教諭 田中 梨菜 先生より)



「祝 卒業」

時が経つのは驚くほど早く、ついに卒業メッセージを書く日が来てしまいました。人生の中で一番エネルギーにあふれ、無限の可能性を持っている皆さんと過ごす日々は、教員としての醍醐味を感じさせてくれる瞬間ばかりでした。皆さんにとってはどんな3年間、または6年間でしたか。自分の好きなこと、思いっきりできましたか。卒業後は社会に出る人、学生生活を送る人、海外へ行く人、様々だと思いますが、この先もずっと自分の好きなこと、やりたい事を真っすぐに追いかけて下さい。また会える日を楽しみにしています！卒業おめでとう！

(第3学年F組担任 佐伯 弓子 先生より)



「なりたい自分を思ってみよう」

高校3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。未来に向かい、新たな一歩が始まりますね。目標とする自分や達成したいことがあるとき「こんな自分になりたい（こんなことをやりたい）ぼくが思えばできるんだ」と毎日言葉で言ってみてはどうでしょう。言い続けると「言葉」から「思い」に代わり、艱難辛苦を乗り越え、目標に向かって進んでいけます。まだ、目指すものが見つかっていない人は、「目指せるものを見つけない ぼくが思えばできるんだ」と思ってみるのはどうでしょう。

（カウンセラー 山田 秀子 氏より）



「ご卒業、おめでとうございます」

図書館の先生から卒業する皆さんへ、一番伝えたいことは「本を読みましょ」の一言です。

現在過去未来、この世界、異世界、異次元、広大な宇宙まで、本の世界は果てしなく広がっています。本を読むことで、ぜひ皆さん自身の世界も広げてみて下さい。

そしてその中に、これからの人生に必要な心の支えになるような「人」や「言葉」が、きっと見つかると思います。

最後に、ウォルト・ディズニーの言葉を贈ります。「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。何より素晴らしいのは、これらの富を毎日楽しめることだ。」

（図書館司書教諭 津久井 美江 先生より）



「今、明日、未来へ出発 進行」

【中学1年3組 佐藤 舜 君 撮影（寄稿）】

第59号をお読み頂きありがとうございました。

またお忙しい中、短い期間であったにも関わらず、高校3年生のためにはなむけの御言葉を寄せていただきました先生方、誠にありがとうございます。

卒業生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。大銀杏第59号が発行でき、よかったです。先輩方の卒業後のご活躍を祈っています。

（新聞部より）



「卒業おめでとうございます」

高校を卒業するという事は、大人への大きな一歩を踏み出すことだと思います。今までの経験や失敗をこれからの糧に頑張ってください。

そして、明るい笑顔は周りの人々に幸せをもたらします。笑顔をやささず、素晴らしい未来を迎えてください。応援しています。

これからの更なる飛躍に期待しています。

（中学養護教諭 古川 真理子 先生より）